



# QUIS-ME NEWS VOL.2

## パプアニューギニアの学校から



PNG 教育省/国際協力機構、2017年3月発行



### ～新しい教科書作りを始めました～

皆さま、ご無沙汰しております。このQUIS-ME News（キスミー・ニュース）では、パプアニューギニアの理科と算数の小学校向け教科書の開発をお手伝いしているQUIS-MEプロジェクトの最新情報をお伝えしていきます。

さて、今回は2016年8月までの活動をご紹介させていただきました。今回は、その後の2016年9月～2017年3月までの活動を振り返ってみたいと思います。

#### 1. プロジェクトを行うための投入

プロジェクト活動のためには、人、物、金の投入が必要です。2016年9月～2017年3月の間に、新たに加わった、機材や人員を見てみましょう。

#### <日本人専門家とパプアニューギニアのカウンターパート>

日本人専門家に変わりはありませんが、教育省の体制に変更がありました。QUIS-MEプロジェクトの最高責任者であるプロジェクト・ダイレクターのアペリス氏が定年退職され、ワリペ氏が新ダイレクターに就任されました。また、副ダイレクターのハタゲン氏が異動され、アンナマリー氏が就任されました。新任のお二人とも、日本に研修に行ったこともあり、プロジェクトにとっても真摯に協力いただいています。

職位	前任者	後任者
プロジェクト・ダイレクター	 <p>Dr. Eliakim Apelis, PhD, MPS</p>	 <p>Mr. Walipe Wingi</p>
副ダイレクター (兼ステアリング委員長)	 <p>Mr. Titus Romano Hatagen</p>	 <p>Ms. Annemarie Kona</p>

算数と理科の教科書開発の人出が不足していたため、教育省に追加の人員をお願いして教科書を執筆するテキストブックライターを4人新たに配属して貰いました。新人の皆さんは比較的若い人が多く、新しい教科書作りに邁進しています。



Armstrong Rupa (算数)



Ileen Palan (算数)



Raphaella Barau Oa (理科)



A'alia Nissar (理科)

新任テキストブックライター達

### <事務所や機材>

新任テキストブックライター達も増え、執務室が手狭になったので、算数と理科でそれぞれの執務室を確保して、必要なパソコンなども整備しました。また、ついにプロジェクト車両が供与されました。日産パトロールというパプアニューギニアの未舗装道路でも走行できる車両です。パイロット校への訪問に大活躍しています。



整備された事務所・機材とプロジェクト車両供与式の様子

## 2. 「成果1：教科書の普及のための戦略と計画が策定される」の活動

成果1ではプロジェクト全体の戦略策定や実施管理をしています。その活動の一部としてステアリング委員会を2016年12月、2017年3月に実施しました。プロジェクトの進捗状況を確認し、今後の方針を決める会議で、4半期に1回開催しています。

また、教科書の開発が始まりましたので、教科書ができた後に研修などで普及を進める普及ワーキンググループも設立し、活動を始めました。また引き続き、教育省の幹部とプロジェクトで、パプアニューギニア国内の予算確保のための啓発活動を継続しています。



第5回ステアリング委員会



第1回普及ワーキンググループ会議

### 3. 「成果2：新たなカリキュラムに沿った教科書の第1ドラフトが完成する」の活動

教科書と指導書のドラフトの開発も順調に進んでいます。2017年の3月までに理科・算数ともに3・4年生の前半までの教科書ドラフトができあがりました。教科書用の写真撮影なども進んでいて、とてもPNGらしい教科書になっています。

また、日本の鳴門教育大学に教科書を執筆するテキストブックライターとカリキュラムオフィサーが研修にいらっしゃいました。日本の小学校を視察したり、教材を研究したりして、いくつかの教科書の単元開発に活かしています。



鳴門教育大学での研修の様子



教科書に掲載する写真・イラストも検討

### 4. 「成果3：教員・児童にとって教科内容を理解しやすい教科書・指導書が完成する」の活動

教科書ドラフトを、パイロット校で実際に使って貰い、分かりやすい質の高い教科書に改定していきます。2017年の2月にはパイロット校の先生たちに研修をおこない、3月から実際に教科書ドラフトを使った授業が始まっています。パイロット校の先生には月に1回程度フィードバック会議に集まって貰い、教科書と指導書の改善点を助言して貰っています。



パイロット校教員対象研修のマイクロティーチング



新教科書に子どもたちは興味津々



授業観察を通して教科書の改善点を見つけます



フィードバック会議で改善点を洗い出します

## 5. 「成果4：教員が教科書の使い方を学ぶためのオリエンテーション教材が開発される」の活動

新しい教科書や指導書の活用についての研修を開発する普及ワーキンググループが始動し始めました。まずは、成果3の授業観察で使用する授業観察シートを開発しました。開発した授業観察シートはパイロット校での検証作業の際に活用されています。また、この授業観察シートを使ったモニタリングの結果、弱いところに新教科書の活用研修では重点をおきます。



授業観察シートを開発するCP



授業観察シートに沿って授業の改善点を発表

## EDITOR'S VOICE

皆さま、長文にお付き合いありがとうございました。プロジェクトが開始されて1年が経ちましたが、立ち上げの時期は終わり順調に教科書開発作業が滑り出しました。教科書の開発、検証作業共に活発に展開されています。

特に実際の学校での検証作業は、子ども達の反応が直に感じられるので、とても学ぶことが多いです。教科書・指導書共にミスや改善点がまだまだ多いですが、協力してくれている学校の皆さんの為にも、全国の子ども達のためにも良いものに改善していきたいと思えます。

カウンターパート達も日々成長していますので、次回のニュースでは、どうなっているか、私も楽しみです。では、皆さま、またお会いいたしましょう(^\_-)☆



文責：山岡智互（副総括/教育計画2）